

目指す区のすがた名「自然の魅力輝くまち」			
ページ数	指摘箇所	委員名	意見
2P		伊藤委員	・外来種の駆除に関して、福島潟はザリガニに対して取り組みをしているが、ひょうたん池や十二潟ではどうなのか。植物だけでなく生物も観察してほしい。
		平松委員	観光交流について、ひょうたん池は駐車場がない。PRして来てもらったはいいが、期待外れで終わらないような工夫をしないとけない。

目指す区のすがた名「未来へ続く活力あるまち」

ページ数	指摘箇所	委員名	意見
7 P	7. 道路 (1) 現状・課題 3つ目の○文章	山賀委員 (五十嵐 補佐に直 接ご意 見)	<ul style="list-style-type: none"> 除雪についての記載がないのではないか。 <p>【建設課から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年によって変動もある。「生活道路の維持管理」に含まれる。
		佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 除雪が、表面を削っただけで道路が凸凹になっており、事故が起きていた。 <p>【建設課から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 除雪は雪の降り方によって違いがある。連続して雪が降り続けると、除雪に時間がかかり、除雪する前に車が通ってしまい道路が凸凹になる場合がある。また、業者の技術にも差があり、近年は住宅地で雪を置く場所がなかなかない状況もある。
		前田委員	<ul style="list-style-type: none"> 除雪の予算配当を工夫してほしい。 業者の数や割り振り方を機動的にしてほしい。(区域のかぶりや価格調整) <p>【建設課から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の大雪を受けて、除雪の見直しを行い、業者の配置や雪捨て場の数を増やして改善を行った。また、対応の遅れた歩道除雪は速やかに行えるようになった。
6 P	4. 商工業 (2) まちづくり の方針 ② 商業の活性	斉藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 葛塚市・松浜市の魅力の再発見。地域の飲食店やキッチンカーとのコラボで、北区ならではの食材でメニュー開発を行う。 しじみ汁が松浜の水産業の材料として良いと思う。観光材料としても使えるのではないか。 <p>【産業振興課から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 松浜市場で買えるが、流通量は少ない。

6 P	4. 商工業 (2)まちづくり の方針 ②商業の活性化 4つ目の○文章	佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品を広く宣伝してほしい。宣伝が下手なのではないか。 ・ 現地に行ってお得に味わってほしい。 ・ 昭和レトロの魅力に惹かれる若者を呼び込める所もつくって、人を呼び込みたい。
6 P	5. 大学等連携 (2)まちづくり の方針 ①若者との協働による	前田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はすの実、ひしの実といった季節ものを宣伝してもよい。
		清水委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事の「幸福度や住み続けたい町のランキング」に北区が入ってないので、1位になれるよう努力していくべきではないか。評価が上がればいいと思う。 <p>特に大学生の意見・感想が、今後の目指す区のすがた名「未来へ続く活力あるまち」に対し有効と考える。古き良き伝統を守りつつ、斬新な発想を尊重したい。そのための“仕掛け”を当部会で検討・実践が重要かと思う。</p>
		前田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に元気がない。行政の力でどうにかするのが、この区ビジョンなのではないか。 <p>コロナ情勢も関係しているとは思う。</p>

目指す区のすがた名「いきいきと心豊かに暮らせるまち」

ページ数	指摘箇所	委員名	意見
P8	健康に暮らせる地域づくり	藤原委員	高齢者だけでなく若い人も健康に気を付けることは大切。若いころからの意識づけが必要だと思う。
		樺山委員 遠藤委員	SOSを出せない人をどうサポートしていくか。今ある活動とそうした人々とをどうつなげるかが課題。
	健康に暮らせる地域づくり	遠藤委員	認知症予防に取り組むとあるが、認知症が進行した後の対応についても介護保険制度のことなど包括的な記載があると良いのでは。 ●健康福祉課から ⇒包括的な福祉制度については市全体の取組。区ビジョンでは健康分野で区が取り組む課題として認知症の予防や早期発見について記載した。 ●支え合いのしくみづくり（本間委員）から ⇒長浦・岡方地区で「認知症を考える会」をやっている、地域で見守りながら暮らしていけるよう考えている。認知症の正しい知識の習得、そこから気づきの目をもつことをやっている。地域包括支援センターや地域とのネットワークづくり、警察との連携など取り組み始めた。
	10. 健康 (1)現状・課題	清水委員	北区の特定健診委託医療機関はどのくらいあるのか。医療機関が少なく、健診を気軽に受けられないことが受診率の低さにつながっていないか。 ●健康福祉課から ⇒特定健診医療機関は15機関。身近な医療機関で受診できる環境は整っている。なぜ市

			内でも受診率が最低レベルなのか分析しながら受診勧奨を実施しているが、なかなか成果に結びつかないのが現状。
P10	13. 教育 教育 まちづくり方 針3つ目	中嶋委員	一人ひとりの個性を見られる教育になるといい。地域に、部活動の指導をお願いできるかの打診がきているが、心のケアも大切なので専門家でない地域の人に任せていいのか。大学などと連携し・・・「学力・運動能力の向上」を図るとあるが、限定しすぎではないか。
P9	11. 福祉 現状・課題3 つ目	本間委員	「障がいのある人の高齢化も進んでおり、～多様化するニーズに対応したサービスの充実が必要となっています。」 に対応する取り組み4つ目 「障がい者福祉施設や関係団体との連携し、商品の販路拡大や認知度の向上を図ります」 はつながっていない感じがする。その他の方法（ニーズに対応したサービスの充実）もあるのではないか。
P13	18. 雨水対策 (1)現状、特 性と課題	清水委員	一つの文章では物足りない。8. 4水害でも水があがった。もう少し強調した文章にしたほうがいいのではないか。

目指す区のすがた名「安心安全で住みよいまち」

ページ数	指摘箇所	委員名	意見
全体		山賀委員	区ビジョンの全体像の章だてが分かるように見せてもらおうと議論しやすい。
6P		五十嵐委員	大学の交流拠点があると連携がすすみやすい。以前はJR南口前にあった。現在は北口側にあるといいという要望がある。
		神田委員	「儲かる農業」にどうやって結びつけるか。露店市の衰退。人が来ないから売れない→出店者の減少の悪循環。スーパーや直売所も多い中で、ブランディングや専門家の企画プロデュースなど考えるべき。
7P		山賀委員	除雪の事も記載すべき。車道と歩道
9P		鶴巻委員	書いてあることは理想。現実はまだ意識がかわらない（食生活や運動推進）地域で活動している若い人の意見を聞く機会があれば何か施策に結び付けられるのではないかな。
13P		神田委員 山賀委員	交通安全施設の管理。道路標示が消えていたりすると自治会から警察に伝えるが、春先などに一斉点検を行政の方で出来ないか。 →【山賀委員から】自治会で点検して地図におとし警察に伝えている。